

インタビューの
記録から

「学校の教育目標実現のために、先生方一人一人の力を同じ方向に向けていくことが必要だと感じています。」

「目標管理にも関連させて、先生方に明確な目標をもって教育活動にあたってほしいという願いをもっています。」

「管理職はもちろん、全職員で学校経営に当たられるよう、構想を顕示して提案することが多いです。」

学校としての目標
に向けて自分の
取組を充実させる
ことが、学校全体
を良くすることに
つながるんだね！

職員に促したい気付き



一人一人と教育目標をつなぎたい

そこで

評価シートや話し合いの方法を工夫して、先生方一人一人の取組と学校の具体目標との関係をとらえてもらい、成果・課題・改善策の共有を図りましょう。

たとえば

学校教育目標を具体化するための学校経営の重点を、具体目標とします。その各具体目標にかかわる取組について評価し、その結果を交流しながら具体目標の実現に向けた改善策をグループになって話し合います。話し合った結果を模造紙にまとめて発表し合い、教育目標実現への参画意識の高揚を図りながら、方向性を共通理解します。

一人一人がする評価

具体目標ごとに一人一人の教員が子どもの現状を分析し、それに対する方策・手だてを検討する。

すずんで学ぶ子 氏名 _____

次年度の方策・手だて

「自ら学ぶ」ことを学校全体でその手だてで構築する。
家庭学習の取り組みと結びつけて授業を設計していく必要がある。

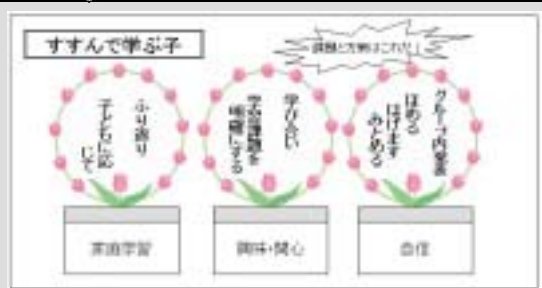
現状把握

(+) 的 - 自分自身の方法を考え出し、新たな資料を見つけたらよくなる取組が増える。
- 自主学習カードの活用が増える。

(-) 的 - 進捗が遅れるが、取組に結びつかなる取組がある。
- 教師が声をかけないと、家庭学習ができていない児童がある。

グループごとの話し合い

成果・課題、方策・手だてを類型化し、内容を3種類くらいにしぼる。模造紙にまとめ全職員での発表会を実施する。



配布用リーフレット

全職員での検討結果をリーフレット形式にまとめ、保護者に配布する。(子どもたちのよさと次年度の取組を中心に)

